2022年
2月

県内景況・確報

◎概況　**新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる。**

●2022年２月 おきぎん「カトレア」景況図●

２月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

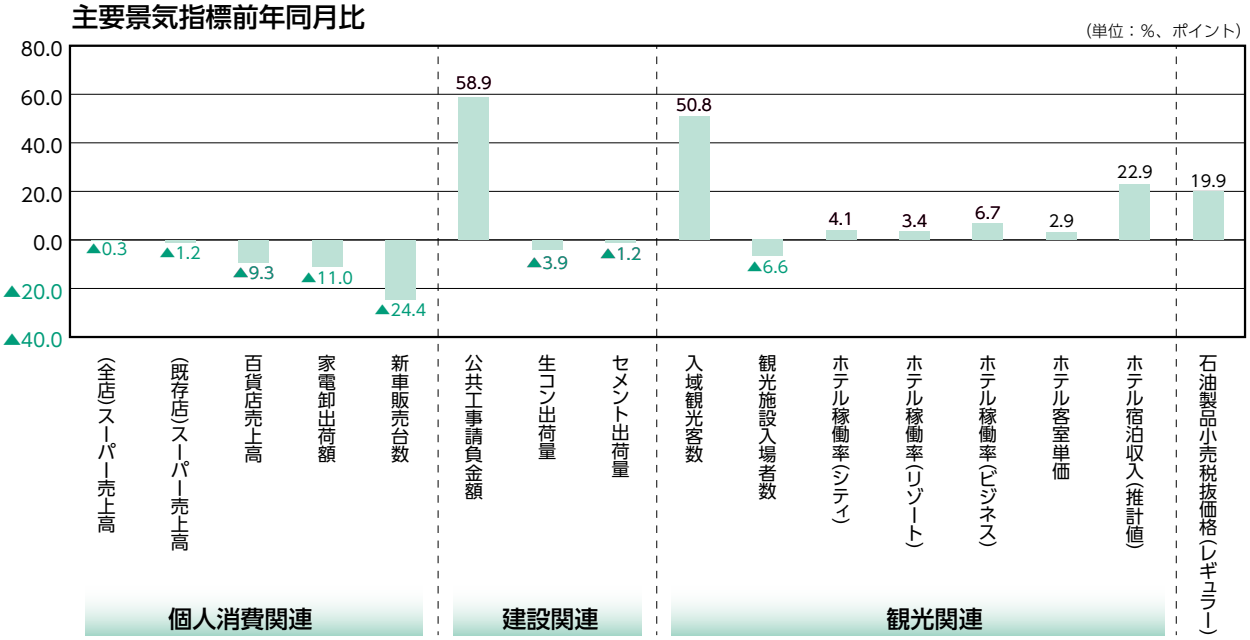
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンとセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数においては前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）においても前年同月を上回りました。しかしコロナウイルス感染拡大の影響により、前々年同月と比べると厳しい状況となっています。

このような状況に鑑みて、個人消費は巣ごもり需要の反動や、耐久消費財の供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により、持ち直しの動きが停滞しています。よって、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられる」**と景気判断を据え置きました。

（2022年１月の下方修正から２ヵ月連続で判断維持）

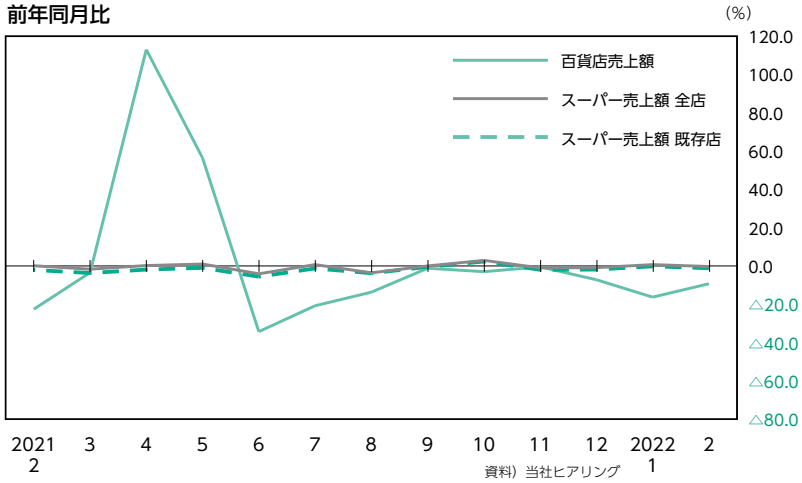
主要景気指標前年同月比



個人消費 （やや悪い）

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

２月の個人消費関連では、**スーパー売上高「全店ベース（前年同月比0.3％減）」**は、２ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、「食料品（同1.1％減）」は前年の緊急事態宣言下における巣ごもり需要の反動などにより前年同月を下回りました。「衣料品（同0.2％増）」、「家庭用品（同2.8％増）」については、前年の外出自粛の反動などにより、前年同月を上回りました。

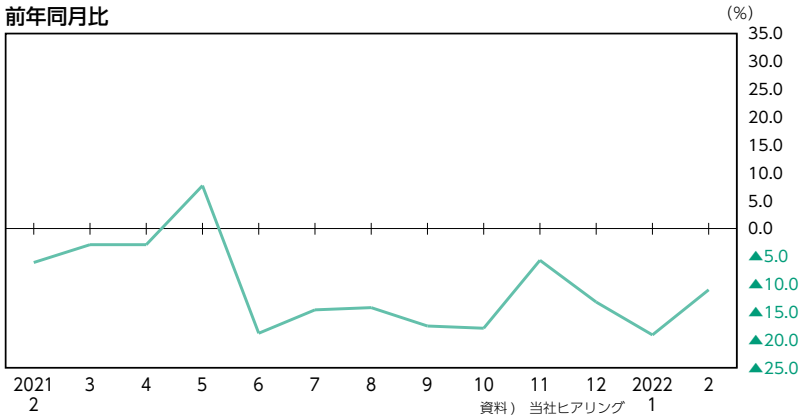


「既存店ベース（同1.2％減）」は、４ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同1.5％減）」は、前年の緊急事態宣言下における巣ごもり需要の反動などにより前年同月を下回りました。「衣料品（同1.0％減）」も前年同月を下回りました。「家庭用品（同0.4％増）」は前年の緊急事態宣言による外出自粛の反動などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました（同9.3％減）。内訳をみるとウェイトの高い、「食料品（同1.1％増）」は、バレンタインギフト商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同1.2％増）」も前年同月を上回りました。「雑貨（同32.7％減）」、「家庭用品（同29.3％減）」は、売り場面積の減少（テナント化）などがあり、前年同月を下回ったことから、全体としては９ヵ月連続で前年同月を下回りました。

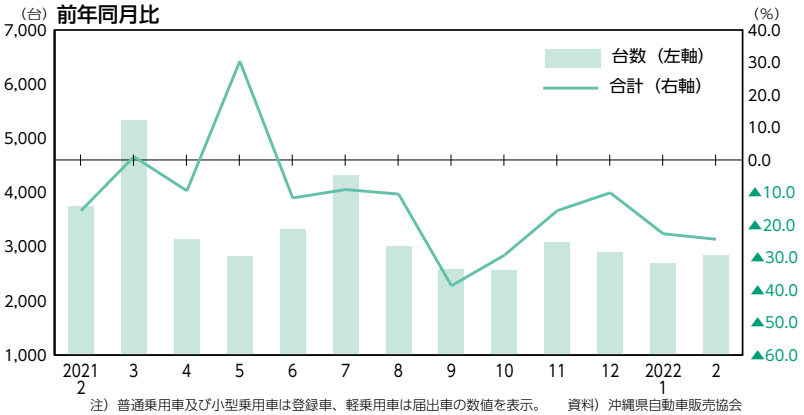
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は、９ヵ月連続で前年同月を下回りました（同11.0％減）。品目別では、「テレビ（同18.9％増）」、「冷蔵庫（同7.1％増）」は、新商品の発売などにより前年同月を上回りました。一方、「洗濯機（同39.2％減）」、「エアコン（同10.6％減）」は前年の反動などから前年同月を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で2,833台（同24.4％減）となり、９ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車（同4.5％増）」は前年同月を上回ったものの、「普通乗用車（同26.1％減）」、「軽乗用車（同42.4％減）」において、半導体不足の影響による納品の遅れが長期化していることなどにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。



注）普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。　資料）沖縄県自動車販売協会

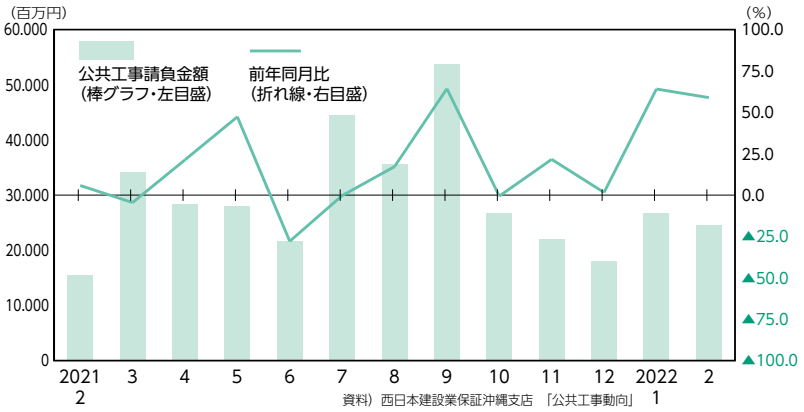
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連 （ふつう）

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

２月の公共工事請負金額は、前年同月比58.9％増の245億4,800万円となりました（４ヵ月連続増）。

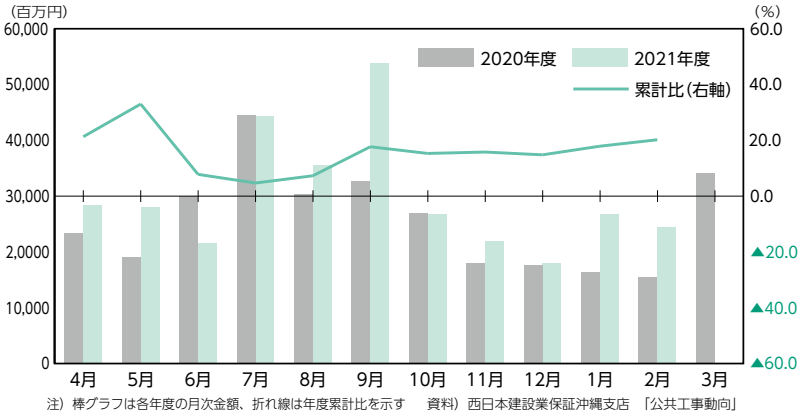
発注者別でみると、「国（同204.1％増）」、「沖縄県（同62.2％増）」は前年同月を上回りました。一方、「その他の公共的団体（同98.2％減）」、「独立行政法人等（同96.6％減）」、「市町村（同33.3％減）」は前年同月を下回りました。



資料）西日本建設業保証沖縄支店「公共工事動向」

【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

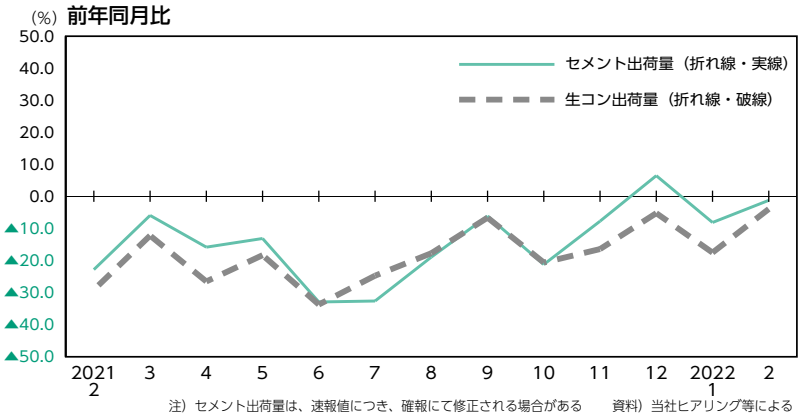
今年度累計値では20.2％増となっております。



注）棒グラフは各年度の月次金額、折れ線は年度累計比を示す　資料）西日本建設業保証沖縄支店「公共工事動向」

② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

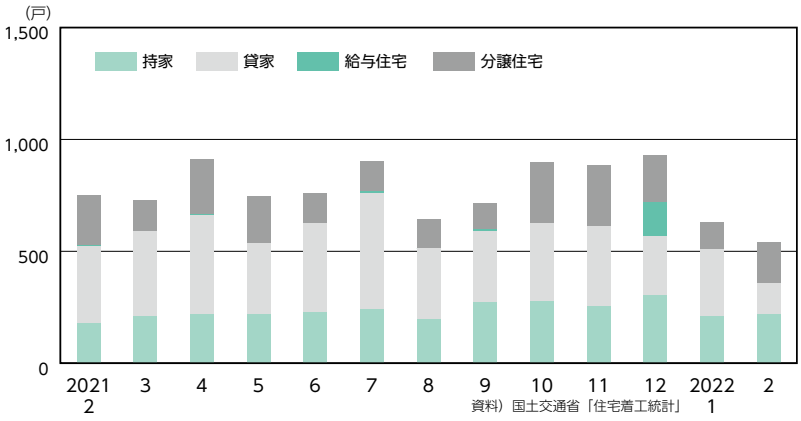
建設資材関連では、**生コン**の出荷量は3.9％減と25ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛施設や公共施設等への出荷が増加したことなどから前年同月より1.9％上回り、民間工事向けはホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より7.6％下回りました。**セメント**出荷量は1.2％減と２ヵ月連続で前年同月を下回りました。



注）セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある　資料）当社ヒアリング等による

③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

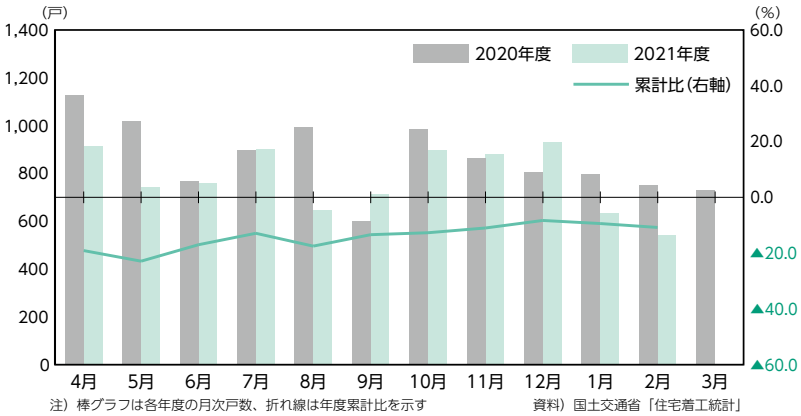
２月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比27.8％減の542戸となり、２ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「貸家（同60.1％減）」や「給与住宅（同33.3％減）」、「分譲住宅（同18.7％減）」は前年同月を下回りました。一方、「持家（同22.2％増）」は前年同月を上回りました。



資料）国土交通省「住宅着工統計」

【参考】住宅投資（年度累計）…着工戸数は前年同期を下回る。

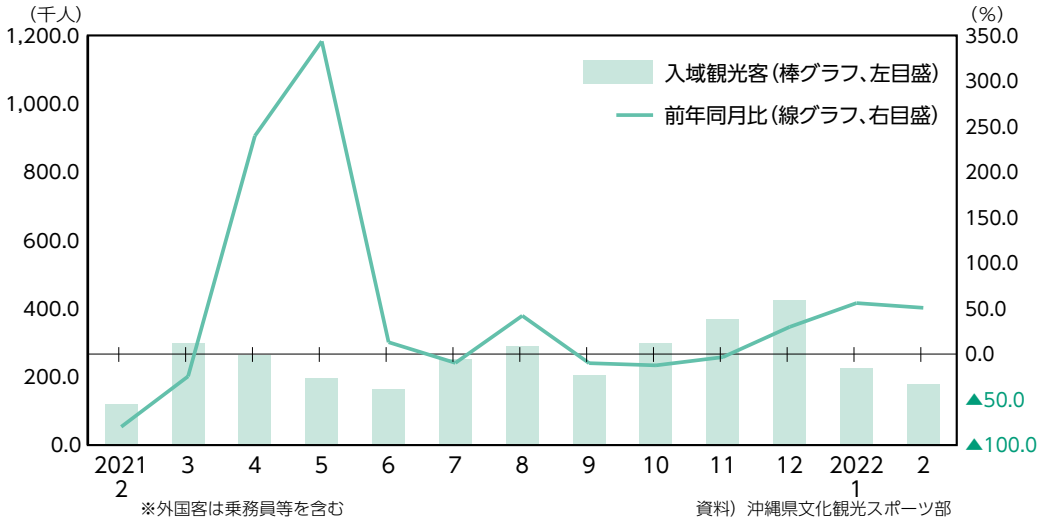
今年度累計値では、10.8％減となっています。



注）棒グラフは各年度の月次戸数、折れ線は年度累計比を示す　資料）国土交通省「住宅着工統計」

観光関連 （悪い）

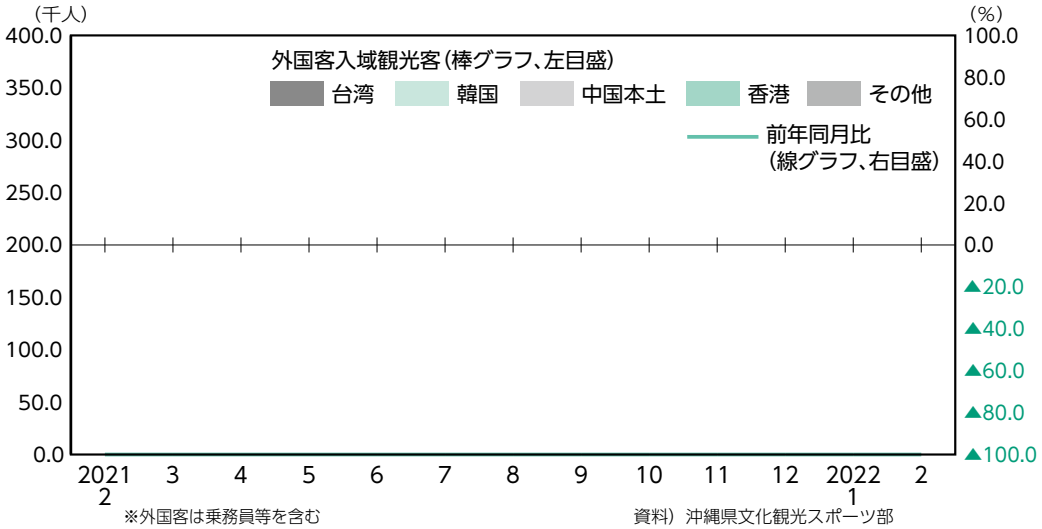
① 入域観光客数（国内客・外国客の合計）…前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

資料）沖縄県文化観光スポーツ部

外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



※外国客は乗務員等を含む

資料）沖縄県文化観光スポーツ部

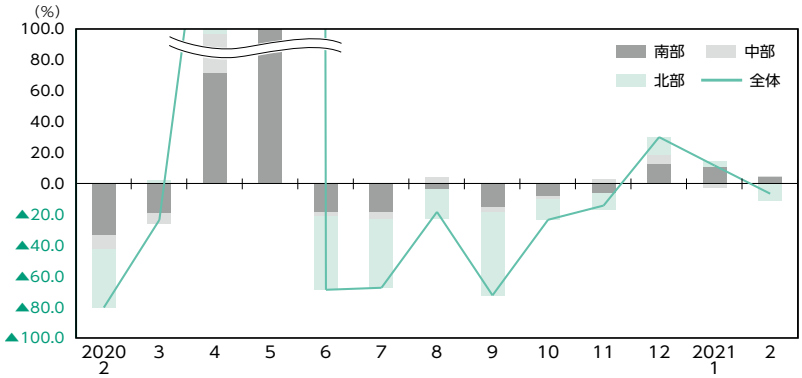
２月の入域観光客数は、60,300人多い179,100人（前年同月比50.8％増）となり、３ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年同月は緊急事態宣言下にあったことなどから、上回りました。しかし、前々年（2020年）同月比では411,800人減少（69.7％減）と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

② 観光施設入場者数…前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体では6.6%減となり、３ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。地域別では、南部の観光施設は23.7%増、中部は10.0%増、北部は15.7%減となりました。北部の一部施設における来園者数減少などから、全体としても前年同月を下回りました。

(参考)前々年(2020年)比では、全体で81.6%の減少となります。内訳では南部の観光施設は89.0%減少、中部は79.9%減少、北部は76.8%の減少となっています。

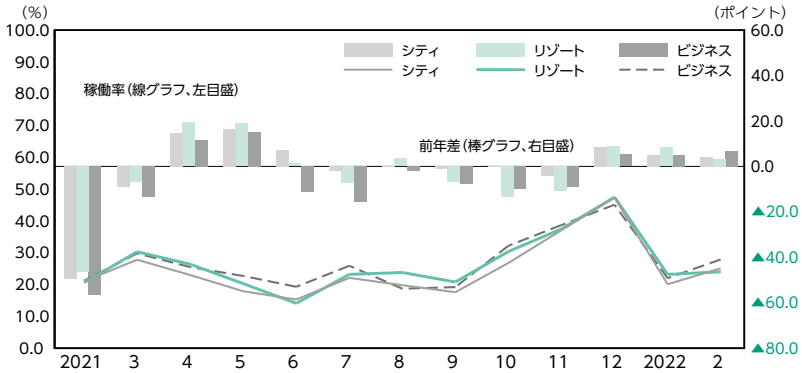


※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設　※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。
注)棒グラフは各地域の寄与度を示している
資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比4.1ポイント増加、リゾートホテルは3.4ポイント増加、ビジネスホテルは6.7ポイント増加しました。２月20日まで適用された「まん延防止等重点措置」の影響を受けたものの、前年同月の全日数が緊急事態宣言下にあったため、増加しました。

(参考)前々年(2020年)比では、シティホテルは45.2ポイントの減少、リゾートホテルは43.1ポイントの減少、ビジネスホテルは49.7ポイントの減少となっています。

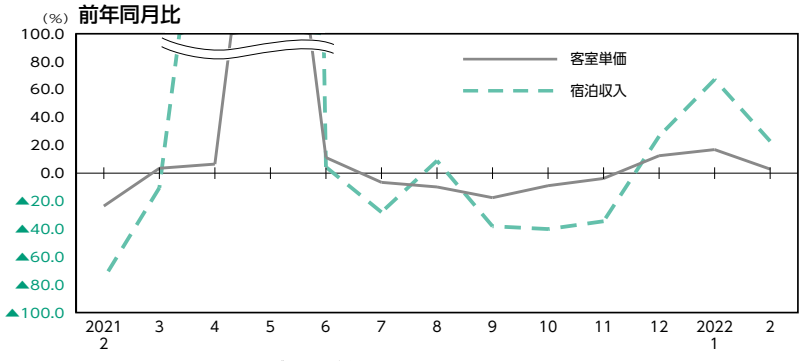


注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。
資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は2.9%増と3ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においても22.9%増と３ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)前々年(2020年)比では、客室単価は18.6%の減少、客室収入は69.7%の減少となっています。



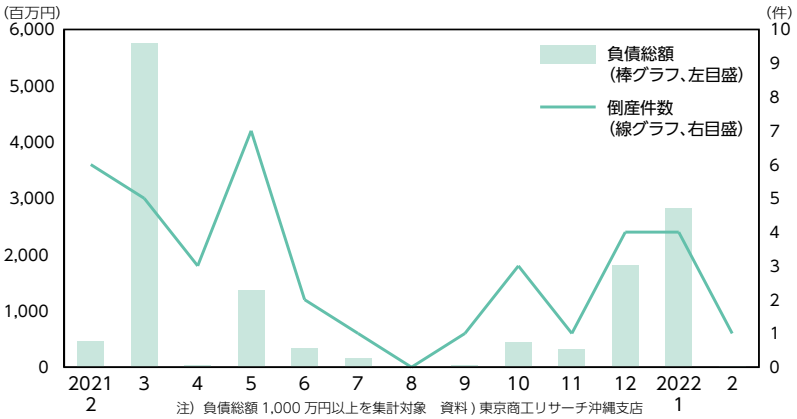
※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く（R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たホテル1施設を集計開始)
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。
資料) 当社ヒアリング

企業倒産 （やや良い）

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を下回る。

２月の企業倒産件数は、１件となり、前年同月より83.3％下回りました。

負債総額は1,000万円となり、前年同月より97.8％下回りました。

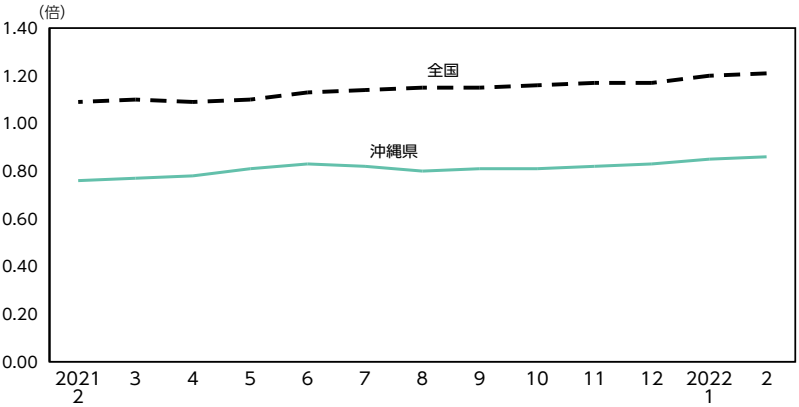


注）負債総額 1,000 万円以上を集計対象　資料）東京商工リサーチ沖縄支店

雇用関連 （やや悪い）

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より上昇。

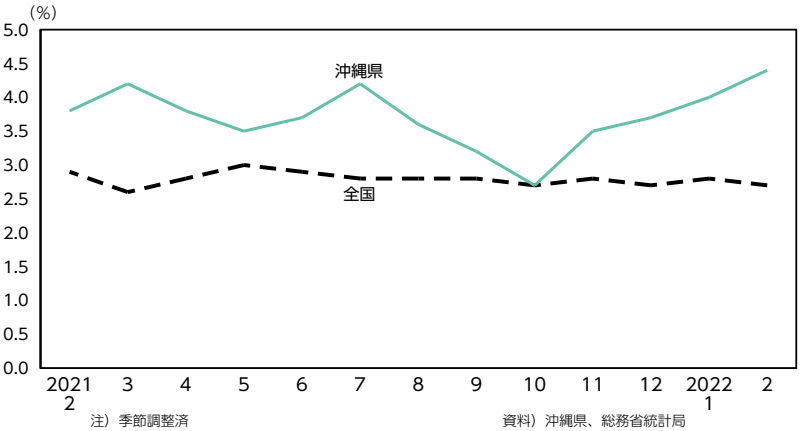
２月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比1.9％増の27,771人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比1.0％増の32,357人となり、**有効求人倍率（季節調整値）**は0.86倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。



注）季節調整済　注）沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出　資料）沖縄労働局、厚生労働省

② 完全失業率…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

２月の完全失業率（季節調整値）は、4.4％となり前月より0.4ポイント上昇しました。



注）季節調整済　資料）沖縄県、総務省統計局